

『つるがしま物語』ってなに??

「つるがしま物語」は、鶴ヶ島の10万年の歴史を遡って、この地に紡がれてきた人々の暮らしや想い、文化や歴史などを都市の変遷や社会的変化とともに可視化したものです。この作品は鶴ヶ島市出身の伊藤有沙さんが武蔵野美術大学の卒業制作として作られたもので、同大学卒業作品展の優秀賞を受賞しました。令和6年2月に市役所1階ロビーで展示し、その後大勢の人に見てほしいと、「はんしん地域活性化助成金(飯能信用金庫)」を活用し、鶴ヶ島ロータリークラブが製本し、市に寄贈されました。



← 絵 本

旧石器時代から未来までを時代ごとに分け、10冊の絵本にまとめたもので、何歳でも楽しむことができる内容となっています。
「旧石器時代」の絵本では、狩りの道具を砕いて作る人が登場したり、「戦時中」では出征する若い男性が、遠くの戦地へ向かう光景が描かれたりしています。未来を展望する「これから……」では「この地域が紡いできた歴史は唯一無二で『つるがしま』はここにしかない特別なもの」とつづられています。



資料集 →

絵本の背景にある史実など、より深掘りした内容となっています。
「第1章鶴ヶ島とは」では、多くの方の鶴ヶ島の印象のコメントとともに鶴ヶ島の紹介が掲載されています。「第2章鶴ヶ島の歴史」では、時代ごとの文化財や史実が、そして「第3章鶴ヶ島の今後」では、鶴ヶ島市に関する様々な人のインタビュー記事が掲載されています。

『つるがしま物語』は ここで読むことができます！

「つるがしま物語」は下記の場所で閲覧することができます。ぜひ手にとってご覧ください。

- ◎市役所1階ロビー ◎女性センター
- ◎若葉駅前出張所 ◎中央図書館
- ◎市内各図書館分室
- ◎東武鉄道各駅
(鶴ヶ島駅・若葉駅・一本松駅)
- ◎飯能信用金庫(鶴ヶ島支店・鶴ヶ島西支店)



こちらのサイトから閲覧することもできます

問合先：政策推進課政策担当



市役所ロビーでの展示の様子

絵本 つるがしま物語

The story of Tsurugashima

『鶴ヶ島には何もない』 本当にそうなのかな？ 本当に『何もない』の？

「鶴ヶ島のことを知りたい！」

こう思ったぼくは
たくさんの人に話を聞いた
たくさんこの町を歩いて
たくさん本を読んだ

そして見つけた物語
今も 昔も この先も……

いつの時代もこの場所で
人々が懸命に生きていたこと

君にも教えてあげたくて
ぼくは絵本を作ったの
もし良かったら読んでくれないかな

いとうありさ
作者 伊藤有沙さん
(鶴ヶ島市出身)

問 秘書広報課広報広聴担当
南市民センター ☎049・287・0235

眞田 清さん
(富士見)

野口 満さん
(上広谷)

「つ
感じ
また
きた
につ
の人
じ、
や期
今回
きつ

いとう ありさ
伊藤 有沙さん
(つるがしま物語作者)

interview

講演会を終えての感想をうかがいました



まつた かずき
松田 和記さん
(鶴ヶ島清風高校3年)

る「がし物語」に込めた想い」が伝わっているところの場面が多くあり、とてもうれしかったです。本作について踏み込んだ感想を聞くことができたのも新鮮で、私自身の今後の地域との関わり方について、考えさせられました。改めて、たくさんに支えられ、応援していただいていることを感謝の気持ちでいっぱいです。同時に、その声援にに応えられる人で在り続けたいと思いました。この講演会が「わたしたちの未来」について考えるきっかけになれば幸いです。



なかみち せいご
中道 晴吾さん
(鶴ヶ島第二小学校5年)

とても緊張しましたが、伊藤さんやパネラーの方が優しく接してくれたおかげで、無事に発表することができました。また、未来の鶴ヶ島について話した際に会場から笑いがあり、とてもうれしかったです。鶴ヶ島は地域の方々と交流があり、温かいまちだと話をしましたが、今回のこの会を通じて、改めて素晴らしいまちだと実感しました。伊藤さんの努力の結晶のこの作品を、1人でも多くの方に読んでほしいです。



たかはし
高橋 ちなみさん
(鶴ヶ島第二小学校5年)

私は、「つるがしま物語」について語り合う会に参加して、鶴ヶ島の歴史や鶴ヶ島に住んでいた人は、たくさんの工夫をして鶴ヶ島を残してくれたことなどを学びました。また、作者の伊藤さんがどうしてこの本を作ったのかについても学びました。パネラーとしてたくさんの人の前で話すことは緊張したけれど、とてもいい機会になりました。そして私は鶴ヶ島がもっと好きになりました。

ダイジェスト
動画はこちら



朗読に合わせ、スクリーンでは絵本のページがめくられていく。150人を超える入場者は、目と耳で作品を体感していました。

・「私たちの未来について考えてほしい」

長い歴史が今を形作ってきたように、今は未来に繋がります。未来に向けて、
今を生きる私たちは何をするのか、したいのかを考えてほしい。

・「すべての地域が唯一無二で特別なんだ」

鶴ヶ島もすごい。東京もすごい。外国だってすごい。すべての地域が互いを認め、尊重し合える、そんな未来にしていきたい。